

企業短期経済観測調査（道北\*地域分）  
（調査対象企業：道北\*47社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内  
回答社数構成比 %ポイント  
( )内は前回調査時予測

(判断D. I.)

	2015/9月	12月	2016/3月	6月	9月	12月	2017/3月 までの予測
業況判断 < 良 - 悪 >	8	6	2	8	17	( 9 ) 14	6
うち製造業	9	9	18	0	40	( 30 ) 40	20
非製造業	8	5	▲ 3	11	11	( 3 ) 8	3
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	▲ 9	▲ 15	▲ 7	▲ 2	▲ 18	( ▲ 20 ) ▲ 20	▲ 20
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	5	0	0	0	▲ 3	3	—
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	2	0	▲ 2	▲ 7	▲ 5	( ▲ 7 ) 0	▲ 5
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	▲ 15	▲ 9	▲ 28	▲ 24	▲ 39	( ▲ 35 ) ▲ 37	▲ 31
資金繰り < 楽である - 苦しい >	▲ 10	▲ 2	▲ 2	2	11	15	—
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	15	26	22	20	34	34	—
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	▲ 7	▲ 7	▲ 22	▲ 22	▲ 18	( ▲ 11 ) ▲ 18	▲ 7
販売価格 < 上昇 - 下落 >	2	▲ 5	9	7	4	( 0 ) ▲ 4	▲ 2
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	27	26	15	30	17	( 27 ) 27	27

(注) 「製商品在庫水準判断」、「資金繰り判断」および「金融機関の貸出態度判断」の「2017/3月までの予測」は調査対象外。

(事業計画)

全産業、前年度比%、  
< >内は前回調査比修正率%

	2014年度実績	2015年度実績	2016年度計画			
			上期		下期	
売上高	-4.3	+1.0	-0.6 < -1.1 >	+1.6 < -0.2 >	-2.7 < -2.0 >	
経常利益	-47.4	+70.2	+10.6 < +10.9 >	+18.4 < +40.2 >	+3.2 < -9.5 >	
当期純利益	-57.0	2.2倍	+19.5 < +8.6 >	+3.2 < +53.3 >	+43.7 < -17.2 >	
設備投資額	+97.6	-69.0	-17.3 < +3.4 >	+27.6 < +2.5 >	-55.0 < +5.5 >	

## 道北地域の企業短期経済観測調査結果（2016年12月）の概要

- 調査対象企業：道北地域 47 社（製造業 10 社、非製造業 37 社）
- 回答率 100%（有効回答社数 47 社）
- 回答期間：2016年11月14日～12月13日

### 1. 業況判断 DI

- 12月の業況判断 DI（全産業ベース）は+14と、前回9月調査に比べて小幅悪化した（前回+17、前回比▲3ポイント）。
  - 製造業の業況判断 DI は+40と、前回調査比変化なし。
  - 非製造業の業況判断 DI は+8と、観光関連で悪化した先がみられたため、前回調査比小幅の悪化だった（前回+11、前回比▲3ポイント）。
- 先行きの業況判断 DI（全産業ベース・2017年3月までの予測：+14⇒+6）は、悪化を予測。
  - 製造業の業況判断 DI は、建設資材関連や水産加工で悪化を見込んでいる（+40⇒+20）。
  - 非製造業の業況判断 DI は、建設関連や卸・小売を中心に悪化を見込んでいる（+8⇒+3）。

### 2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI〈需要超－供給超〉」（▲18⇒▲20）は、流通関連を中心に関係を前回比供給超幅が小幅拡大。先行きは不変の予測。「製商品在庫水準判断 DI〈過大－不足〉」（▲3⇒+3）は、小幅ながら過大超に転化。「生産・営業用設備判断 DI」〈過剰－不足〉」（▲5⇒±0）は、不足超が解消。先行きは小幅ながら再び不足超に転ずる予測（⇒▲5）。
- 「雇用人員判断 DI〈過剰－不足〉」（▲39⇒▲37）は、建設資材関連や卸・小売の一部で不足感が解消した先がみられたものの、依然として不足感を訴える先が多い。先行きは、不足超が若干縮小する見通し（⇒▲31）。
- 「仕入価格判断 DI〈上昇－下落〉」（+17⇒+27）は、卸売・小売で下落したものの、水産加工、運輸やサービスなどを中心に上昇超幅が拡大。先行きに

関しては、不変の予測。「販売価格判断 DI<上昇-下落>」(+4⇒▲4)は、卸売・小売、サービスを中心に下落超に転化。先行きは、下落幅の小幅縮小を予測(▲4⇒▲2)。

- 企業を取り巻く金融環境についてみると、借入金利水準は引続き「低下している」と回答した先が多く、金融機関の貸出態度も緩い超幅が大きい状況が続いている(「借入金利水準判断 DI<上昇-低下>」: ▲18⇒▲18、「金融機関の貸出態度判断 DI<緩い-厳しい>」: +34⇒+34)。企業の資金繰りも引き続き好転している(「資金繰り判断 DI<楽である-苦しい>」: +11⇒+15)。

### 3. 事業計画

- 2016年度の売上高は、前年度比▲0.6%とほぼ横ばいの計画。経常利益は、同+10.6%、当期純利益は、同+19.5%の増益を見込んでいる。設備投資は、現時点では同▲17.3%の計画。

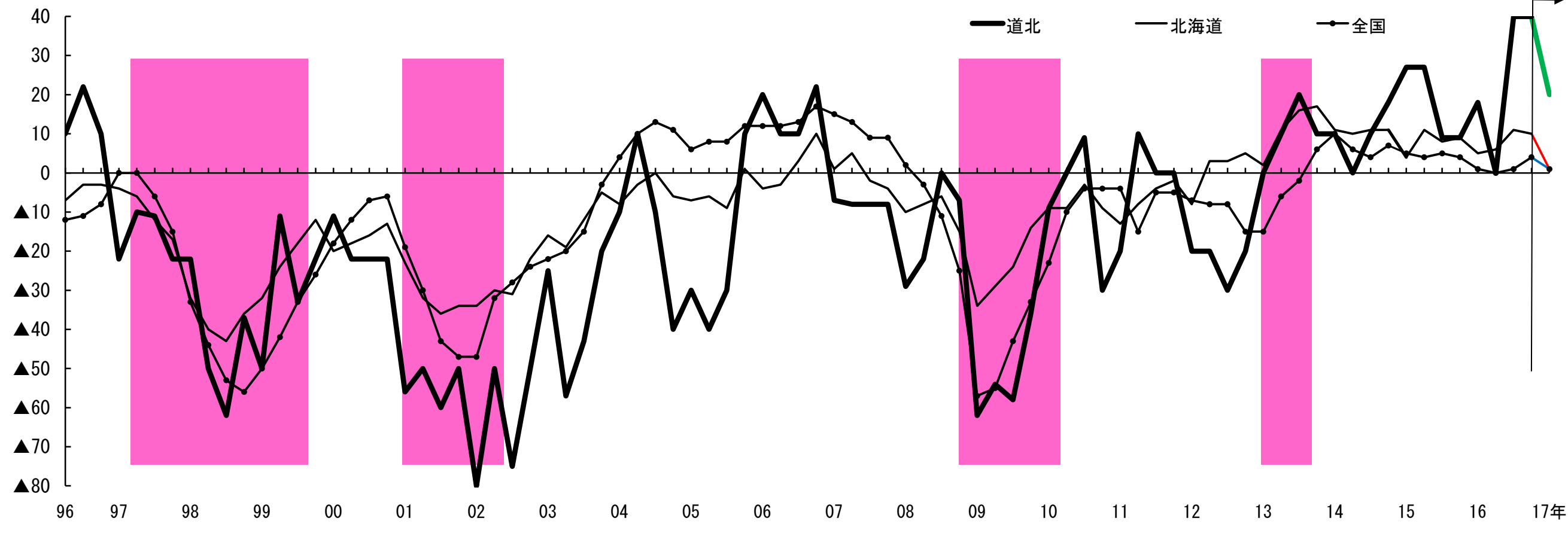
以 上

2016年12月短観・調査結果

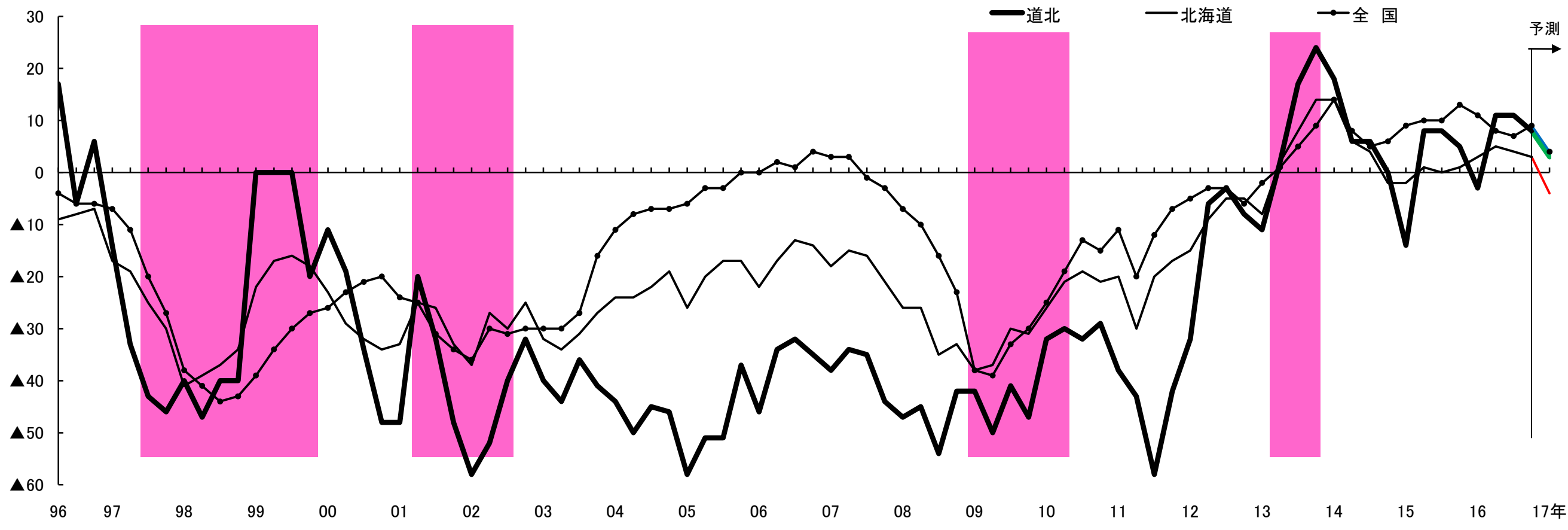
業況判断D. I. (「良い」 - 「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注)  
 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内  
 2014/9月以前は調査対象企業見直し前の旧ベース、2014/12月以降は見直し後の新ベース。  
 シャドローは景気後退期（内閣府調べ）

(参考)

業況判断D.I.(道北・全道・全国)

業況判断D.I.(「良い」-「悪い」、%ポイント)

		2016/6月	9月	12月	2017/3月予測
道北	全産業	8	17	14	6
全道	全産業	6	5	5	▲ 3
全国	全産業	4	5	7	2
	大企業	12	12	14	13
	中堅	9	10	12	7
	中小	▲ 1	0	2	▲ 3